



## 2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 AIメカテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6227 URL <https://www.ai-mech.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 阿部 猪佐雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 米田 達也 (TEL) 0297-62-9111  
 定時株主総会開催予定日 2024年9月26日 配当支払開始予定日 2024年9月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	15,421	△0.3	261	△55.0	162	△65.4	111	△90.6
2023年6月期	15,461	5.3	581	△21.0	469	△30.9	1,193	149.4
(注) 包括利益	2024年6月期		348百万円(△70.8%)		2023年6月期		1,193百万円(121.3%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	19.40	19.11	1.1	0.7	1.7
2023年6月期	211.91	210.14	14.0	2.3	3.8

(注) 2024年6月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年6月期連結会計年度に関連する会計年度情報項目については、暫定的な会計処理の確定を反映しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2024年6月期	22,774	10,955	48.1	1,765.56	
2023年6月期	22,134	8,986	40.6	1,595.88	
(参考) 自己資本	2024年6月期		10,953百万円	2023年6月期	8,984百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	△1,131	△889	2,130	2,873
2023年6月期	△692	△1,130	2,115	2,713

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00	253	21.2	3.0
2024年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00	279	232.0	2.7
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00		120.0	

## 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	20,015	29.8	1,625	521.9	1,510	829.6	216	93.3	円 銭 34.82

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年6月期	6,213,000株	2023年6月期	5,630,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期	9,142株	2023年6月期	20株
③ 期中平均株式数	2024年6月期	5,759,580株	2023年6月期	5,629,980株

(参考) 個別業績の概要

2024年6月期の個別業績 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	15,423	△0.1	268	△56.7	170	△66.6	119	△89.9
2023年6月期	15,436	5.5	618	△15.3	509	△23.7	1,183	159.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期	20.79	20.48
2023年6月期	210.16	208.41

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	22,372	10,350	46.3	1,667.97
2023年6月期	21,785	8,610	39.5	1,529.02

(参考) 自己資本 2024年6月期 10,347百万円 2023年6月期 8,608百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動) .....	12
(企業結合等関係) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ①当連結会計年度の事業環境について

当連結会計年度における世界経済は、資産効果により個人消費が堅調な米国を中心にプラス成長を維持しましたが、中国の不動産市況低迷による内需停滞や、ウクライナ・中東情勢などの地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続きました。国内経済は、実質賃金の前年比マイナス基調が続く中、個人消費が振るわない一方、企業の設備投資・輸出は堅調に推移し緩やかな回復が続きました。

当社グループの事業環境について、半導体業界において、PCやスマートフォンなどのIT機器需要低迷を受け、メモリ向け等を中心に投資抑制傾向が続いた一方、AI用先端半導体関連需要は急速に拡大しました。また、フラットパネルディスプレイ(FPD)業界では、パネル市況の低迷等により、マイクロディスプレイ・LCDともに投資抑制が続きました。

このような環境下において、当社は、東京応化工業(株)から譲り受けた装置事業の積極的な展開、JUKI(株)との資本業務提携の推進、(株)オプトランとの合弁会社設立など、更なる事業拡大への取り組みを強化いたしました。

#### ②当連結会計年度の業績について

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の受注金額は15,088百万円(前年度比2.2%減)、受注残高は20,243百万円(前年度比1.7%減)となりました。

当社グループの当連結会計年度の連結業績は、売上高は15,421百万円(前年度比0.3%減)、営業利益は261百万円(前年度比55.0%減)、経常利益は162百万円(前年度比65.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は111百万円(前年度比90.6%減)となりました。

#### ③セグメントの業績について

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

##### (IJPソリューション事業)

主力のマイクロディスプレイ向け一括封止ラインについて、AR/VRグラス等の最終アプリケーション市場動向を見極めている顧客の設備投資計画見直しなどにより、受注・出荷の翌期以降へのずれ込みが発生し、前年度比減収・減益となりました。引続き、次世代コミュニケーションツール用を中心とするマイクロディスプレイ向け投資需要の捕捉に加え、調光パネル向けフィルムODFシステム拡販や、合弁会社によるナノインプリントリソグラフィ事業の早期立ち上げに注力し、受注・売上の積み上げを図って参ります。

このような状況のもと、当セグメントの当連結会計年度の売上高は1,943百万円(前年度比49.5%減)、セグメント利益は155百万円(前年度比12.3%減)となりました。

##### (半導体関連事業)

はんだボールマウンタについて、IT機器・汎用サーバ用半導体の投資抑制を受け、受注・出荷の翌期以降へのずれ込みが顕在化したものの、AIサーバ用などの先端半導体パッケージ向けウエハハンドリングシステムやパワー半導体向けUV/プラズマ装置が牽引し、前年度比増収・増益となりました。今後は、引続き堅調なAI用先端半導体向け投資需要の捕捉に加え、IT機器需要底入れや各国政府の支援の後押しにより、メモリ・ロジック向け投資に本格的回復の動きが伺える中、当第1四半期に上市したJUKI(株)との共同開発によるはんだボールマウンタ新機種拡販などにより、一層の受注・売上の拡大に取り組んで参ります。

このような状況のもと、当セグメントの当連結会計年度の売上高は11,446百万円(前年度比62.7%増)、セグメント利益は1,602百万円(前年度比17.9%増)となりました。

## (LCD事業)

パネル市況の底入れは伺われるものの、顧客の設備投資計画見直しの動きは続き、出荷の翌期以降へのずれ込みなどにより前年度比減収・減益となりました。引き続き投資回復動向を見極めながら、既存設備更新や部品・改造などのアフターサービス需要の掘り起こしを中心に、一定規模の受注・売上確保を目指して参ります。

このような状況のもと、当セグメントの当連結会計年度の売上高は2,031百万円（前年度比55.6%減）、セグメント損失は60百万円（前年度は213百万円の利益）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、19,848百万円となりました。主として、売掛金及び契約資産563百万円、半製品563百万円の増加、並びに、仕掛品554百万円、未収入金794百万円の減少によるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末から650百万円増加し、2,792百万円となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末から5百万円減少し、22百万円となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末から4百万円増加し、110百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末から640百万円増加し、22,774百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ862百万円減少し、10,992百万円となりました。主として、短期借入金600百万円の増加、並びに、電子記録債務973百万円、買掛金580百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ466百万円減少し、825百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,968百万円増加し、10,955百万円となりました。主として、新株予約権の行使により資本金1,060百万円、資本剰余金846百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は48.1%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、159百万円増加し、2,873百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1,131百万円（前年度は692百万円の使用）となりました。資金の使用は、主に売上債権の増加674百万円、仕入債務の減少1,560百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、889百万円（前年度は1,130百万円の使用）となりました。資金の使用は、主に有形固定資産の取得による支出885百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果取得した資金は、2,130百万円（前年度は2,115百万円の取得）となりました。資金の取得は、主に新株予約権の行使による株式発行による収入2,193百万円によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

中国内需の低迷、地政学リスクによる資源価格の変動とインフレ率の高止まりなど、今後も世界経済は先行き不透明な状況が続くと思われませんが、半導体業界におきましては、AI用先端半導体需要拡大に加え、IT機器・汎用サーバ用半導体需要の回復を受け積極的な設備投資が見込まれます。一方、FPD業界におきましては、LCDの新規投資増加は大きく見込めないものの、IT機器向けディスプレイの有機EL化、AR/VRガラス等の量産計画を踏まえたマイクロディスプレイや光学製品向け投資の積極化などにより、設備投資は総じて底堅い推移が予想されます。

このような状況のもと、2025年6月期の連結業績見通しにつきましては、現時点では、売上高20,015百万円（前年度比29.8%増）、営業利益1,625百万円（前年度比521.9%増）、経常利益1,510百万円（前年度比829.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益216百万円（前年度比93.3%増）を見込んでおります。

※次期の業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

#### (5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

##### ① 利益分配に関する基本方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、株主への剰余金の配当を安定かつ継続的に実施することを利益分配についての方針として位置付け、これを実践していく考えであります。

##### ② 当期の配当

上記基本方針並びに当社を取り巻く経営環境を総合的に勘案し、期末配当としては、1株あたり普通配当45円を予定しております。

##### ③ 次期の配当

次期の配当に関しましては、上記基本方針に則り、期末に45円の配当を実施する方向で検討しております。

#### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準により連結財務諸表を作成しております。今後のIFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,713,839	2,873,563
売掛金及び契約資産	8,777,809	9,341,237
電子記録債権	57,662	171,195
半製品	1,577,148	2,140,820
仕掛品	5,598,127	5,043,447
原材料	5,625	6,708
未収入金	1,050,357	255,689
その他	78,940	80,490
貸倒引当金	△1,918	△64,623
流動資産合計	19,857,592	19,848,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	310,860	341,407
機械装置及び運搬具（純額）	878,146	1,259,090
工具、器具及び備品（純額）	54,041	58,003
土地	656,000	656,000
リース資産（純額）	67,841	53,303
建設仮勘定	175,997	425,112
有形固定資産合計	2,142,887	2,792,918
無形固定資産		
ソフトウェア	27,902	22,374
無形固定資産合計	27,902	22,374
投資その他の資産		
その他	105,671	110,458
投資その他の資産合計	105,671	110,458
固定資産合計	2,276,461	2,925,750
資産合計	22,134,054	22,774,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	2,411,749	1,438,499
買掛金	2,467,377	1,886,797
短期借入金	5,200,000	5,800,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	133,000
リース債務	15,869	15,998
未払金	396,543	227,209
未払費用	295,346	223,410
未払法人税等	123,284	216,600
前受金	473,525	629,869
賞与引当金	272,989	297,285
役員賞与引当金	26,500	26,500
製品保証引当金	51,232	24,000
受注損失引当金	1,165	—
その他	69,879	73,717
流動負債合計	11,855,464	10,992,888
固定負債		
長期借入金	425,000	292,000
リース債務	59,302	43,304
役員退職慰労引当金	48,198	50,278
退職給付に係る負債	448,341	150,885
繰延税金負債	311,015	289,325
固定負債合計	1,291,858	825,794
負債合計	13,147,322	11,818,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,000	1,510,566
資本剰余金	4,215,238	5,061,914
利益剰余金	4,194,378	4,052,761
自己株式	△30	△34,138
株主資本合計	8,859,586	10,591,104
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	90,839	147,589
退職給付に係る調整累計額	34,332	214,591
その他の包括利益累計額合計	125,172	362,181
新株予約権	1,973	2,312
純資産合計	8,986,731	10,955,597
負債純資産合計	22,134,054	22,774,280



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	15,461,469	15,421,653
売上原価	12,286,977	12,184,826
売上総利益	3,174,491	3,236,827
販売費及び一般管理費	2,593,428	2,975,514
営業利益	581,063	261,312
営業外収益		
受取利息	6,066	7,532
その他	575	1,341
営業外収益合計	6,642	8,873
営業外費用		
支払利息	31,911	51,446
アレンジメントフィー	37,500	—
コミットメントフィー	12,454	10,770
為替差損	19,820	21,898
持分法による投資損失	—	8,599
その他	16,729	15,030
営業外費用合計	118,415	107,746
経常利益	469,289	162,440
特別利益		
負ののれん発生益	1,134,225	—
特別利益合計	1,134,225	—
特別損失		
固定資産除却損	295,312	—
特別損失合計	295,312	—
税金等調整前当期純利益	1,308,202	162,440
法人税、住民税及び事業税	112,798	151,698
法人税等調整額	2,352	△100,990
法人税等合計	115,151	50,707
当期純利益	1,193,051	111,732
親会社株主に帰属する当期純利益	1,193,051	111,732

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	1,193,051	111,732
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△11,591	56,750
退職給付に係る調整額	12,276	180,258
その他の包括利益合計	685	237,009
包括利益	1,193,736	348,741
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,193,736	348,741

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,000	4,215,238	3,254,676	△30	7,919,884
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					—
剰余金の配当			△253,349		△253,349
親会社株主に帰属する当期純利益			1,193,051		1,193,051
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
新株予約権の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	939,702	—	939,702
当期末残高	450,000	4,215,238	4,194,378	△30	8,859,586

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	102,431	22,055	124,486	1,973	8,046,344
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					—
剰余金の配当					△253,349
親会社株主に帰属する当期純利益					1,193,051
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
新株予約権の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△11,591	12,276	685	—	685
当期変動額合計	△11,591	12,276	685	—	940,387
当期末残高	90,839	34,332	125,172	1,973	8,986,731

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,000	4,215,238	4,194,378	△30	8,859,586
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	1,060,566	1,060,566			2,121,133
剰余金の配当			△253,349		△253,349
親会社株主に帰属する当期純利益			111,732		111,732
自己株式の取得				△349,933	△349,933
自己株式の処分		△213,890		315,825	101,934
新株予約権の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,060,566	846,676	△141,616	△34,108	1,731,517
当期末残高	1,510,566	5,061,914	4,052,761	△34,138	10,591,104

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	90,839	34,332	125,172	1,973	8,986,731
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)				△7,058	2,114,074
剰余金の配当					△253,349
親会社株主に帰属する当期純利益					111,732
自己株式の取得					△349,933
自己株式の処分					101,934
新株予約権の発行				7,398	7,398
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	56,750	180,258	237,009	—	237,009
当期変動額合計	56,750	180,258	237,009	339	1,968,866
当期末残高	147,589	214,591	362,181	2,312	10,955,597

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,308,202	162,440
減価償却費	273,779	243,915
固定資産除売却損益	295,312	—
負ののれん発生益	△1,134,225	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△970	62,705
賞与引当金の増減額 (△は減少)	67,160	24,295
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,100	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,406	△28,398
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△45,494	△38,239
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,320	2,080
受取利息	△6,066	△7,532
支払利息	31,911	51,446
持分法による投資損益 (△は益)	—	8,599
売上債権の増減額 (△は増加)	1,931,496	△674,506
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△583,041	△5,161
未収入金の増減額 (△は増加)	△768,500	795,318
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,440,385	△1,560,891
前受金の増減額 (△は減少)	△817,733	156,317
未払金の増減額 (△は減少)	220,843	△159,557
未払費用の増減額 (△は減少)	127,403	△74,292
その他	68,356	31,600
小計	△466,324	△1,009,859
利息の受取額	6,066	7,532
利息の支払額	△31,596	△53,622
法人税等の支払額	△200,414	△75,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	△692,268	△1,131,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△328,670	△885,581
無形固定資産の取得による支出	△18,575	△4,748
子会社株式の取得による支出	△682,178	—
その他	△100,886	487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,130,309	△889,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,900,000	600,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△25,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△6,736	△15,869
自己株式の取得による支出	—	△351,087
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2,193,228
新株予約権の発行による収入	—	7,398
配当金の支払額	△252,699	△253,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,115,563	2,130,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,537	50,040
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	283,447	159,724
現金及び現金同等物の期首残高	2,430,391	2,713,839
現金及び現金同等物の期末残高	2,713,839	2,873,563

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社オプトランとの合弁会社ナノリソティックス株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年3月1日に行われた東京応化工業株式会社が設立したプロセス機器事業分割準備株式会社との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の見直しが反映されており、暫定的な算定された負ののれん発生益1,172,384千円は、確定により1,134,225千円となりました。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書は、税金等調整前当期純利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、それぞれ38,158千円減少しております。

当該暫定的な会計処理の確定に際し、条件付取得対価の支払見込額等を勘案しております。条件付取得対価は、被取得企業の2024年12月末までに設定した業績目標の達成度合いに応じて支払う契約であり、その交付又は引渡しが確実となり、その時価が合理的に決定可能となった時点で、支払対価を取得原価として追加的に認識するとともに、負ののれんを減額し、特別損失として計上する予定としております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	I J P ソリ ュ ー シ ョ ン 事 業	半 導 体 関 連 事 業	L C D 事 業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,847,826	7,033,547	4,580,095	15,461,469	—	15,461,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,847,826	7,033,547	4,580,095	15,461,469	—	15,461,469
セグメント利益	177,758	1,358,922	213,106	1,749,787	△1,168,724	581,063

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,168,724千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費△1,168,724千円であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	I J P ソリ ュ ー シ ョ ン 事 業	半 導 体 関 連 事 業	L C D 事 業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,943,778	11,446,222	2,031,652	15,421,653	—	15,421,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,943,778	11,446,222	2,031,652	15,421,653	—	15,421,653
セグメント利益又は損失(△)	155,883	1,602,105	△60,296	1,697,692	△1,436,380	261,312

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,436,380千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費△1,436,380千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	1,595円88銭	1,765円56銭
1株当たり当期純利益	211円91銭	19円40銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	210円14銭	19円11銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年6月30日)	当連結会計年度末 (2024年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	8,986,731	10,955,597
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,973	2,312
(うち新株予約権)(千円)	(1,973)	(2,312)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,984,758	10,953,285
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,629,980	6,203,858

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,193,051	111,732
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,193,051	111,732
普通株式の期中平均株式数(株)	5,629,980	5,759,580
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	47,359	86,901
(うち新株予約権(株))	(47,359)	(86,901)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	2024年2月20日取締役会決議に基づく新株予約権 新株予約権の数 6,530個 (普通株式 653,000株)